

事業会社	CENIBRA
プログラム名称	天然保護区における絶滅危惧種ムトゥンの繁殖活動
プログラム・タイプ	生物多様性保全
実施国・地域	ブラジル・ミナジエライス州
連携・協働相手	教会、市民団体、並びに市役所
リンク先	https://www.cenibra.com.br/mutum-project/?lang=en

活動概要 生態系の修復と希少動物の保護

王子グループの海外植林地の中で最大規模を誇るのが、ブラジルでユーカリの植林・パルプ事業を行っているセニブラです。同社は25万haの社有林を保有・管理しています。ブラジルの森林法では社有林のうち約5万haを生物多様性保全のために保護する必要がありますが、更に急斜面や水源地周辺の森林も伐採せずに残しており、全体では10万haの天然林を維持し、15万haの植林地とともに経営しています。

同社の植林地では様々な野生生物が観察されます。同社の生物多様性への取り組みを象徴するのが、560haを天然林保護地区（RPPN※）として登録している「マセドニア・ファーム」です。ここでは1990年から、絶滅危惧種ムトゥン（ホウカンチョウの仲間）を繁殖・飼育して自然に返す活動をNPOと協力して行っています。また、セニブラでは学校や地域社会に向けて森林および生物多様性に関する環境教育の実施、森林内の動物相、植物相、水資源について定期的に広範なモニタリング調査を行っています。

※RPPN : Reserva Particular do Patrimônio Natural

